

## 悪性胸膜中皮腫における病理学的特徴と治療効果の相関を検討する観察研究

### 1. 研究の対象

2010年4月1日から2022年12月31日までに当院で悪性胸膜中皮腫の診断で診療を受けた方

### 2. 研究目的・方法

中皮腫の診断には病理組織学的所見に基づいて行われますが、p16のホモ接合性の欠失やBAP1蛋白の染色性の消失など、新しい検査が中皮腫の診断に有用であることが示されています。また、このうちBAP1は中皮腫細胞の抗がん剤への感受性との関連が示唆されています。

中皮腫のうち、最も頻度の高い悪性胸膜中皮腫に対しては、いくつかの種類の抗がん剤が有効とされていますが、最も有効な抗がん剤を選択する指標は知られていません。

過去に当院で悪性胸膜中皮腫に対して抗がん剤治療を受けた方について、p16やBAP1の検査結果と治療効果の関係を検討することにより、これらの検査が治療選択に有用かどうかを評価します。

研究実施期間：研究許可日～2025年3月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、合併症、検査データ 等

試料：バイオバンク試料、病理組織標本

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科 新野 祐樹(研究責任者)

電話：03-3542-2511(代表) FAX：03-3542-3815